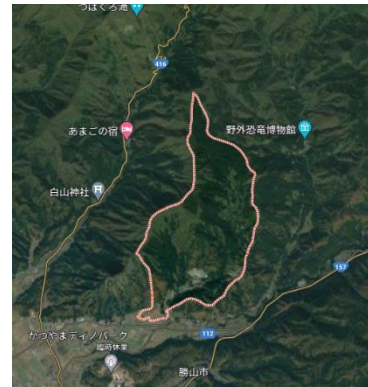


サル用侵入防止柵の設置によりサル被害ゼロへ

サルによる農作物被害に悩まされていた勝山市野向町牛ヶ谷地区では、令和3年度、サル用侵入防止柵としてワイヤーメッシュ柵と電気柵を組み合わせた「おじろ用心棒」を設置した。その結果、設置した圃場ではサルの被害は無くなり、この成果を他の集落にも普及拡大し、地域全体としてサル被害の低減を図っている。

地区の概要

地区名	勝山市野向町牛ヶ谷地区
戸数	6戸（うち農家3戸）
人口	15人
耕作面積	1.1ヘクタール
主な生産物	水稲、野菜
対策開始年度	令和3年度から



勝山市野向町牛ヶ谷地区の地図

被害の状況と課題

- ・勝山市野向町牛ヶ谷地区にはサル群「九頭竜A1群」と「九頭竜A2群」の2群による被害が深刻化しているとともにハナレサルも頻繁にみられるようになってきた。
- ・イノシシ対策としてワイヤーメッシュ柵や電気柵を設置していたが、サルに対応する侵入防止柵は設置していなかった。
- ・ロケット花火による追い払いを実施しているが、威嚇してくる場合もあり、サル群れの加害レベルが高まっていると考えられた。

取組の内容

【おじろ用心棒の設置】

- ・県と市の補助事業を活用し、「おじろ用心棒」を導入し、設置や維持管理は住民が協力して実施した。
- ・設置後は被害がゼロになったため、優良事例として勝山市広報誌（令和4年10月号）にて紹介し、サル対策の1つとして普及推進を図った。また、サル対策の現地研修会の参加者34名に、現地圃場にてどのように設置するのか見てもらった（令和4年3月）。

【その他のサル対策】

- ・サルを目撃した場合は必ずロケット花火を用いた追い払いを実施した。



掲載された広報誌記事



研修会の様子

取組の成果

- ・令和3年度以降、家庭菜園では被害が見られたものの、おじろ用心棒を設置した圃場ではサルの被害は見られなかった。
- ・広報誌で紹介後、市への問合せや要望が6件あり、そのうち1件については実際に牛ヶ谷のおじろ用心棒を見に行った。
- ・令和4年度には他の集落でおじろ用心棒が導入された。

集落の意見

・丹精込めて作った野菜がサルの被害に遭い、とてもつらい思いをしていた。今まで野菜にネットをかけたり、ワイヤーメッシュ柵を設置したりしたが被害も減らなかった。おじろ用心棒は設置にやや手間がかかったが、設置後は被害が無くなり、効果を実感した。圃場に入れなくなり、エサが得られなくなったからか集落でサルを見る事が少なくなったように思う。他のサル被害に遭っている集落にも紹介していきたい。

今後の課題・取組

- ・設置圃場以外では未だ被害があるため、今後、他の圃場への設置を検討する。
- ・複数人で、より効果的にサルの追い払いを行うため、地域ぐるみの追い払い体制を整備する。
- ・加害レベルが上がっている群れについては、県と市が協力し、捕獲を目指す。
- ・当地区での取り組みを優良事例として、さらに他地域にも普及拡大を図っていく。